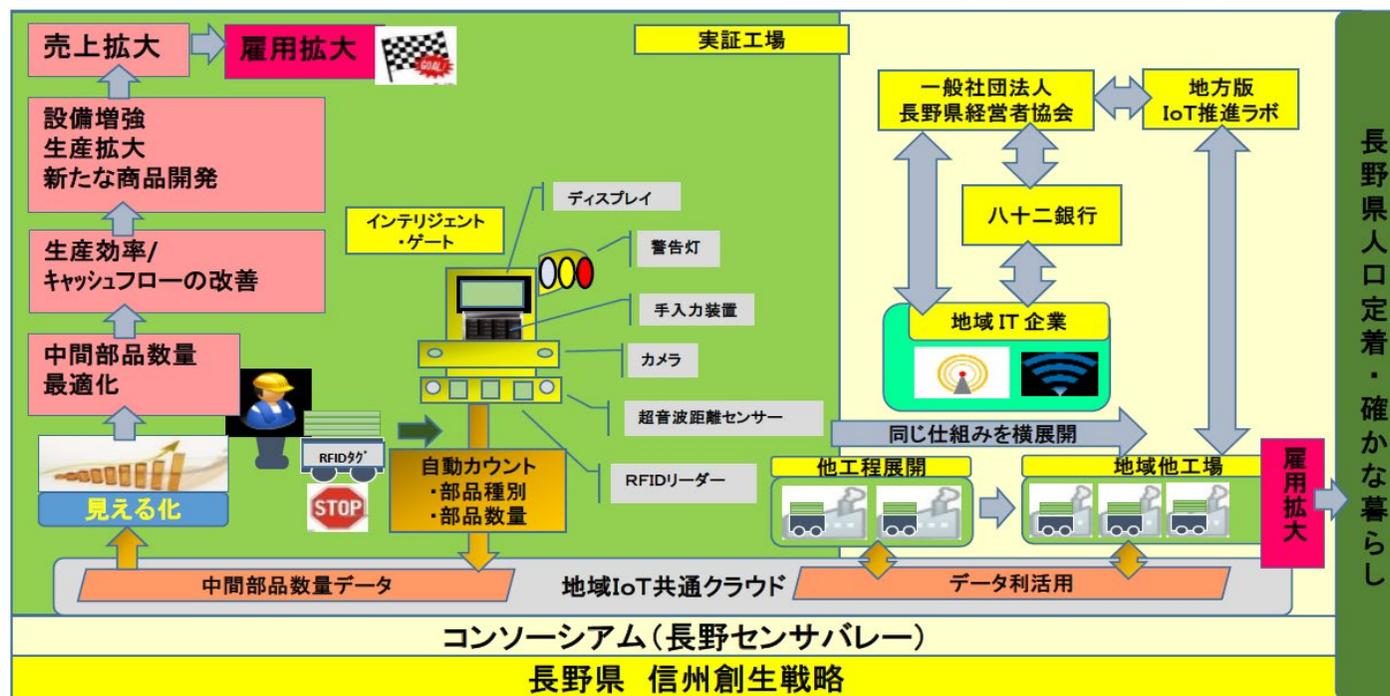
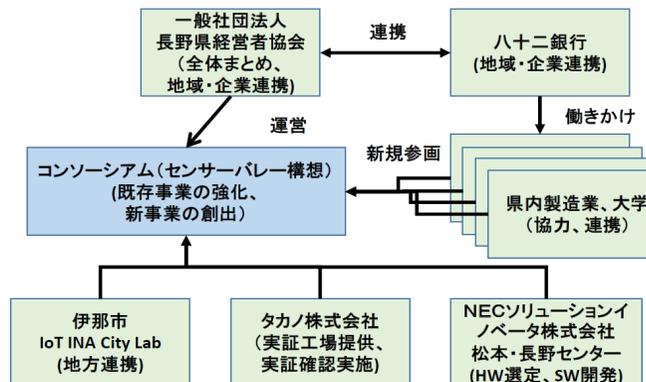


「インテリジェント・ゲート」の導入による生産効率／キャッシュフローの改善  
(平成29年度:地域ICT生産性向上支援事業)

事業概要

長野県内の中小工場を対象とする工場内の生産データを収集・見える化できる手軽・安全なインテリジェントゲートとクラウドにより、誰もが簡単に生産効率／キャッシュフローの改善に活用でき、他工場へも横展開可能なシステムを実現する。



## 事業詳細

事業名称	長野県ICTスマートファクトリ推進事業		
事業主体	一般社団法人 長野県経営者協会		
支援省庁	総務省	支援事業名	地域ICT生産性向上支援事業(H29)
関係団体	一般社団法人 長野県経営者協会、八十二銀行 【長野センサバレー】伊那市、タカノ株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社		

## 実績・効果

## ◆定量的効果(H29年度)

削減項目	目標(達成状況)	備考
実地棚卸工数	1/6に削減(達成)	生産実績がリアルタイムで連携されるため在庫管理の精度が向上し、月次の棚卸は不要となり、年2回の棚卸のみ
仕掛在庫	1/2に削減(達成)	生産実績がリアルタイムで連携されるため日々の在庫が把握でき、台車リードを削減指標として今後対策が可能
棚卸工数金額	1/6の32万円(達成)	毎月の3名×3時間の工数金額が10ヶ月削減
仕掛在庫金額	1/2の150万円(達成)	現行の仕掛在庫金額は約300万円

総事業費:約1,470万円(補助金額:約700万円)、ランニングコスト(見込み):約200万円/年

## 今後の展開

- ・長野県ICTスマートファクトリー推進事業への協力&推進
- ・数量入力、台車のリードタイムのダッシュボード化
- ・数量訂正、データ追加等の機能追加
- ・生産管理連携
- ・社内工程へ横展開